

国際森林年を迎え、大震災を経て、生き方を考え、今行動を開始する！

参加申込表

このままFAXしてください
FAX 026-219-1203

申込方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。後日参加証をお送りしますが、定員に達した場合はその旨ご連絡いたします。

①下表にご記入の上長野ふるさとの森づくり実行委員会事務局まで FAX してください。

参加イベント名	参加者氏名	郵便番号	住所	電話番号
シンポジウム (8月14日午後)				
現地見学会 (8月15日午前)				
植樹祭 (8月15日午後)				

②上の表(またはその項目)を往復葉書にご記入の上、長野ふるさとの森づくり実行委員会事務局宛に郵送してください。

③パソコンで次のホームページを開き、左のメニュー欄の「長野オリンピックの森検証シンポ・震災復興祈念植樹祭」をクリックし、フォームメールに必要事項を入力して送信してください。
<http://www.renafo.com/>(NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会)

申込・お問い合わせ先 (お問合せは FAX かメールで)

〒389-1223 長野県上水内郡飯綱町袖之山 497-4

NPO法人 国際ふるさとの森づくり協会 長野事務所 内
長野ふるさとの森づくり実行委員会 事務局

TEL 026-253-4740 FAX 026-219-1203 Mail info@renafo.com
URL <http://www.renafo.com/> (NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会)

このイベントでは次の各社の協賛を頂いております。



東京本社/東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 代表電話番号/03-3212-0321



長野本社/長野県長野市西尾張部256-4
〒381-0031 電話番号/026-244-0880



エスペックミック(株)

愛知本社/愛知県丹羽郡大口町大御堂1-233-1
〒480-0138 電話番号/0587-95-6369

宮脇方式による 長野オリンピックの森検証シンポジウムと 震災復興祈念植樹祭

長野冬季オリンピック(1998年)が終わって13年、当時「自然と調和したオリンピック」を合言葉に45万本を超える苗木が植えられ、ふるさとの森づくりが進められました。13～19年経った今、どんな森になったのでしょうか？ その現場へ行ってみよう。そして震災からの復興を祈念して、飯綱高原で新しい森づくりに挑戦しよう。お盆で66回目の終戦記念日でもあるこの日に。

参加者募集 **参加費無料**

1日目 講演とパネルディスカッション

8月14日(日) 13:30～15:50

会場：長野市若里市民文化ホール

2日目 長野オリンピックの森現地見学会

8月15日(月) 9:00～12:00

会場：オリンピック施設や周辺の森4カ所

震災復興祈念植樹祭

8月15日(月) 13:30～15:30

会場：飯綱高原大座法師池湖畔大字上ヶ屋地区有林内



主催 長野ふるさとの森づくり実行委員会

長野県中部森林管理局、(社)長野青年会議所、長野市倫理法人会、長野コミュニティネットワーク、NPO いのちと平和の森、NPO 地球の緑を守る会、NPO 国際ふるさとの森づくり協会

協賛 毎日新聞社、(株)第一設計、エスペックミック(株)

後援 長野県、信濃毎日新聞、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、(株)長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、長野商工会議所、長野商店会連合会、八十二銀行、長野信用金庫

長野オリンピックの森検証シンポジウム

自然林の再生は環境面だけでなく、防災上も大きな効果を発揮します。6月25日、東日本大震災復興構想会議は復興ビジョンを政府に提出しました。震災の瓦礫を有効活用して盛土防潮堤を築き、その上にふるさとの森づくりを行って、津波のエネルギーをソフトに吸収しようという構想です。これは長野オリンピックの時競技施設や関連事業で実施された森づくりの方法と同じものです。

シンポジウムではこの方法の提唱者であり、40年前からふるさとの森づくりを国内、海外1700カ所で4千万本の木を植えてきた、宮脇昭氏が基調講演を行います。また、阿部守一知事が緑豊かな長野県の森のあり方と市民の暮らしについて時事講演を行います。

その後のパネルディスカッションでは、長野オリンピックを招致し、実施した当時の長野市長、塚田佐氏、佐久や豊橋などの国有林でふるさとの森づくりを実施している林野庁中部森林管理局長、城土裕氏、きりえ作家であり森づくりへの想いの深い柳沢京子氏が森づくりに対する構想や意見を交換します。(定員：600人)

8月14日(日) 13:30～15:50

会場：長野市若里市民文化ホール(駐車場有)

ビックハット隣、〒380-0928 長野市若里 3-22-2 TEL 026-223-2223

時事講演

阿部 守一氏

「森林を活かし 森林に生かされる 私たちの豊かな暮らし」

基調講演

宮脇 昭氏

「人類の未来とふるさとの森づくり」

パネル ディスカッション

コーディネーターは毎日新聞社

水と緑の地球環境本部長 斗ヶ沢 秀俊氏



宮脇 昭氏

横浜国立大学名誉教授
元長野県自然保護研究所長、
(財)地球環境戦略研究機関
国際生態学センター長



阿部 守一氏

長野県知事



城土 裕氏

林野庁中部森林管理局長



塚田 佐氏

長野冬期オリンピック
招致・開催時長野市長



柳沢 京子氏

きりえ作家
NPO法人いのちと平和の森
代表理事

長野オリンピックの森現地見学会

「自然と調和したオリンピック」実現のために植えられた45万本の落葉広葉樹の苗木は今どんな森に生長しているだろうか。それを確かめるため、4カ所の植栽地を巡り13年～19年経過した森の姿をみて、今後の森づくりの方向を探ります。大型バスに乗り、車中では宮脇昭氏の説明解説を聞きながら移動します。バスは午後の植樹祭終了まで飯綱高原で待機し、その後長野駅まで戻ります。(定員：60人)



植栽後17年経過した地附山



植栽後18年経過した飯綱スキー場

震災復興祈念植樹祭 安全と平和とよりよい環境を目指して

長野オリンピックの森づくりを再開することになるこの植樹方法はこれから長い時間かけて構築される、東北地方太平洋岸海岸防災林と同じ方法であり、津波対策、斜面安定、防火・防風などの災害防止に高い効果を発揮します。終戦記念日に震災復興、平和と安全を祈って魂の森を創りましょう。

植えていただく樹種は飯綱高原のふるさとの木々であるブナ、ミズナラ、イタヤカエデなどの落葉広葉樹15種類、1000本のポット苗です。

(定員：200人)

8月15日(月) 13:30～15:30

会場：飯綱高原大座法師池湖畔
大字上ヶ屋地区有林内(駐車場有り)

植樹面積：500平方メートル

植樹本数：1000本

作業内容：ポット苗植え付け、イナワラ敷設

植樹指導：宮脇 昭氏

注意事項：雨天決行。雨具をご用意ください。

水筒持参。作業しやすい支度でおいでください。

お申し込みは裏面の申込書をご覧ください